

量産用鉄鋼常温黒染剤

RT-S

RT-Sは量産用（水で10倍までうすめることができます）の鉄鋼用常温黒染剤です。

工程と設備

工程は①脱脂②水洗③除錆と活性化④水洗（③と④は省くことがあります）⑤RT-S水溶液浸漬⑥水洗⑦防錆です。

③⑥はプラスチック槽。

①②④⑤はステンレスまたはプラスチック槽。

⑦にはステンレス槽を用います。

水洗槽はできればオーバーフローさせてください。

小部品の黒染にはプラスチックライニングしたラック、フック、籠、穴あき回転バレル。水溶液の攪はんにはエアーが必要です。

使用の際の注意と作業着の服装

RT-Sは強酸性で、重金属を含んでいます。取り扱いには充分注意してください。

□ 水溶液が皮膚につかないよう、ゴム手袋をして、ゴムエプロンを着用してください。

□ 飛びはねた液が目に入らぬよう保護メガネを着用してください。

（皮膚についたときはすぐに水洗してください。万一目に入ったときは、15分間流水で洗浄し、すぐに医師にかかってください。□に入ったときは、すぐに水で□中をよくすすぎ洗いして、医師にかかってください）

処理手順

1. 脱脂

黒染する部分は完全に脱脂します。脱脂には当社の常温脱脂剤デグリースAを用いてください。（デグリースAの用法についてはリーフレットをごらんください）

2. 防錆と活性化

サビがあるときは脱脂、水洗後AA-200水溶液に浸漬して除去します。

また焼入れして表面の硬い鋼はサビがでていなくても脱脂後AA-200水溶液に浸漬して表面を活性化します。（AA-200の用法についてはリーフレットをごらんください）サビもなく、硬度の低い鉄鋼部品にはこの工程は不要です。

3. 浸漬

RT-Sをプラスチック槽に入れ、水で5～10倍にうすめます。その中へ脱脂した部品を浸漬しますと30～90秒で表面が黒く変化してきます。

黒くなる時間は液の濃度、水温、部品の表面硬度、材質などによって異なります。小さな部品を一度に沢山入れるときは液をエアーまたは攪はん機で攪はんして液が行きわたるようにしてください。

4. すすぎ

オーバーフローの水でよくすすぎます。

5. 防錆

黒色を強めるためと耐食性をつけるために防錆剤を用いて仕上げます。

防錆剤には当社の「ラスメット」「ラストン」をご使用ください。

どちらも別にリーフレットがあります。

原液の補充

RT-S水溶液は使用するに従って少しずつ疲労してゆきますが原液を定期的に加えて回復させ無期限に使用することができます。

水溶液の疲労度、補充する原液の量は浸漬時間の記録によりチェックし、きめます。

使用しているうちに黒くなるのに要する時間が増えてきましたら、原液を加えます。

使用しはじめてから第1回の補充をしたときまでの時間と補充した原液の量を記録しておいて、それ以後はその時間と量を参考に補充します。

うんと疲労してから大量の原液を補充するのではなく少し疲労したときに少量の原液を補充するほうが結果は良好です。

スラッジの除去

使用に従って槽の底にスラッジがたまり、水溶液がにごってきます。水溶液を常時循環させ、ろ過する装置があれば理想的ですが、それのない場合、沈殿したスラッジの量が増え、液のにごりがひどくなってきましたら、休日の翌日などスラッジが完全に底に沈殿したときをみはからい、上ずみの水溶液を別のプラスチック容器に移し、スラッジを除去して槽をきれいにしたあと再びもとの槽に移します。除去したスラッジは酸化重金属ですからポリ袋に入れて、地下水に影響しない1メートル以上の深さの地中に埋めてください。

廃液の処理

RT-Sはつぎ足し補充ができますから、なるべく廃液がでないようにするのがご使用の原則ですが、廃液がでたときは、近くに廃液処理設備があれば、重金属(主に鉄)を含んだ酸性液として処理してください。廃液処理業者に委託するときも同様です。

設備のないときはつぎの手順で処理します。

1. 廃液に約10倍の水を加えます。
2. ソーダ灰(Na_2CO_3)などアルカリを投入して、PH7に中和します。PHの測定には市販のペーパー試験紙を用いてください。
3. PH7になった水溶液を一晩放置しますと白味をおびたスラッジが下に沈降、固化しますので、上澄みはそのまま放流します。スラッジは重金属(主に鉄)の酸化物ですので、流さずにポリ袋に入れ、密封します。
4. 重金属の処理基準、処理方法は自治体の条例により異なりますので、条例の定めに従って処理してください。
一般的処理法としては、地下水の影響を受けない1メートル以上の地下にポリ袋ごと埋めます。

RT-Sの組成

重金属塩、酸化剤、水(医薬用外毒物)

荷 姿

1ガロン(約4ℓ)………ポリ容器入り。

18ℓ………アトロン缶入り。

■工業用にだけご使用ください。

◎RT-Sのご使用結果について、当社は責任を負いません。

◎はじめてご使用になるときはサンプルでテストのうえ、採否をきめてください。